

アライグマの特徴

問い合わせ先

アライグマ研究グループ 佐藤 万里子

E-mail: msashika@vetmed.hokudai.ac.jp

Tel: 011-706-5104 / Fax: 011-706-5569



アライグマは、北米原産の中型哺乳類で、アライグマ科の動物ですが、在来のタヌキ(イヌ科)やアナグマ(イタチ科)、外来種のハクビシン(ジャコウネコ科)などと外見が似ているため、よく間違えられることがあります。ここでは、特に外見上の特徴が似ているタヌキと比較しながら、アライグマの特徴を紹介していきます。

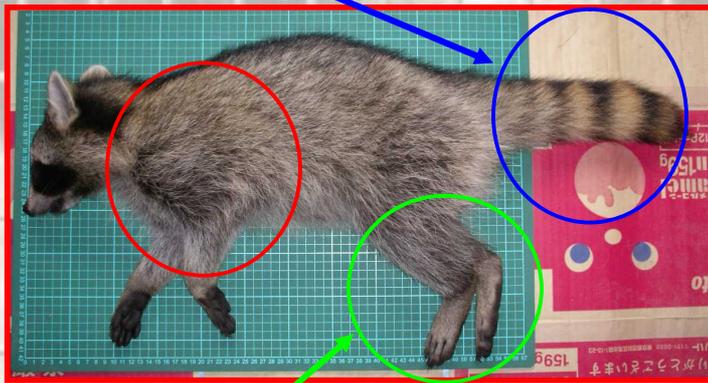


アライグマは夜行性なので、直接目にするのは稀です

体 ~ Body

アライグマの尻尾は長く
5 ~ 6本の縞模様がある

アライグマ
Procyon lotor



肢はかかとまで地面に付く、蹠行性が特徴
人やレッサーパンダ、クマと同じ

タヌキ

*Nyctereutes
procyonoides*

タヌキには、胸から背にかけて黒い帯模様がある



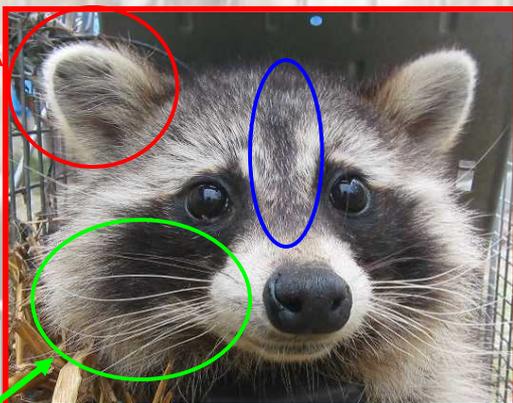
タヌキは、イヌやネコと同じで、つま先だけが接地する半蹠行性

車のヘッドライトに照らされると、アライグマの肢は白っぽく、タヌキの肢は黒っぽく見える

顔 ~ Face

耳は大きく、白い縁取りがある

アライグマ
Procyon lotor

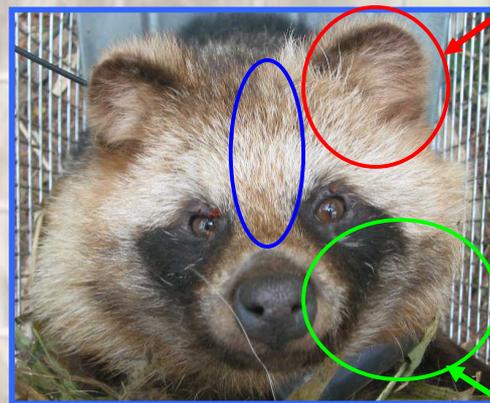


はっきりと目立つ
白いヒゲを持つ

タヌキ

*Nyctereutes
procyonoides*

耳が丸く、両耳の幅が狭い



黒いヒゲは細く
目立たない

アライグマには、眉間に黒い筋があるが、捕獲ワナ内では、擦り切れて目立たないこともある

体格 ~ Physique

	アライグマ	タヌキ
体重	4-9kg	3-7kg
頭胴長	500-650mm	450-600mm

表は北海道で捕獲された成獣個体の平均的な体サイズを示したものです
特に冬毛の場合、どちらも外見的には同じくらいの大きさに見えますが・・・



絵：田腐育美さん



左から、それぞれアライグマとタヌキの成獣オスの頭骨、犬歯、下顎骨の比較写真です
右側のタヌキと比べて左側のアライグマがずいぶん大柄なのがわかります(写真提供：的場洋平氏)

その他の特徴 ~ Features ~

アライグマ
Procyon lotor

タヌキ
*Nyctereutes
procyonoides*



繁殖・子育ても樹洞を使うことが多い



死んだふりか、気絶か？
時々、ワナの中で引っくり返って動かないタヌキに出会いますが、死んでいるわけではありません



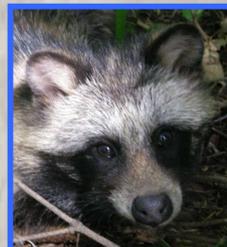
前肢：3~4cm
後肢：10~12cm



アライグマの肢の裏には毛が無く、5指がはっきりと分かっているのが特徴です。器用で力も強いアライグマは、木登りが得意で、天井の梁などでも軽々と伝い歩くことができます



巣穴は、地中や岩の隙間などに多い



前肢、後肢共に
3~4cm 程度と
小さめです